

2015年〈平成27年〉12月2日(水曜日)

低炭素化支援

エネルギー
需要家向け

省エネ情報共有サイト

10月発足の「エネ管連」など紹介



松島 康浩社長

低炭素化支援(社長) 松島康浩氏、本社・名古屋市中川区尾頭橋4-13-17)は中堅企業向けに改正省エネ法対応支援や

省エネ診断によるエネルギー費用削減などのコンサルティング業務と、各種省エネ関連補助金申請支援業務を手掛けている。エネルギー需要家のための省エネ情報共有サイト「エネ共」も運営する。国家資格であるエネルギー管理士の有資格者団体として10月に設立さ

れた「全国エネルギー管理士連盟(エネ管連)」の事務局も務める。エネルギー管理を基としたベリオンチャール企業として昨年来頭角を現している。同社は「エコプロダクツ2015」に出展し、パネル展示を通じてエネ共とエネ管連を紹介する。エネ共は企業や工場な

どのエネルギー需要家のみを会員対象とし、各会員が独自に推進してきた省エネに関する取り組みやノウハウを専用ウェブサイトで共有するもの。需要家同士の情報共有や相互扶助が目的。サブスクリプションは無料(別途年間1件の省エネ情報の提供が必要)。現在会員を募集中。松島社長は「中堅企業の製造業の皆さまが即取り組めるような省エネ事例を掲載するように心掛けている。開設2年で会員数は27社に

なった。今後も増やしていきたい」と話す。一方のエネ管連は、エネルギー管理士同士で省エネ情報の共有と相互研究に努めたり、省エネルギーの一層の推進を図ったり、エネルギー管理士の社会的地位向上を目指したりする任意団体。低炭素化支援の松島社長

が専務理事を務める。会員数は67人。「当面入会金と会費無料でエネルギー管理士の会員を募り、全国各道府県に会員を抱える全国団体へと成長させたい」(同)意向がある。来年をめぐり、一般社団法人への移行を目指している。